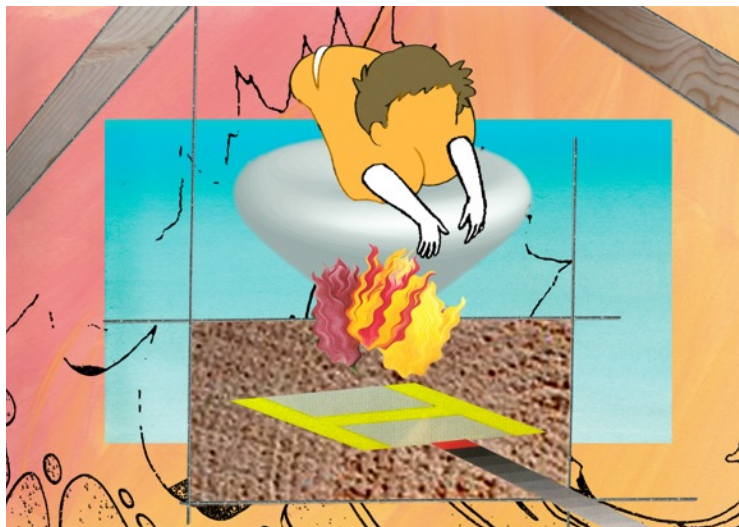


期待と回想 prospect and reflection



展覧会名：期待と回想 prospect and reflection
参加作家：水野健一郎、管弘志、浮舌大輔、伊波英里
会期：2014年9月6日(土)-9月23日(火) / 水曜日休廊
時間：11:00-20:00
会場：Fm
東京都渋谷区恵比寿南1-14-12 ルソレイユ3 303
Tel：070-6969-1412
URL: galleryfm.com
オープニングパーティー：2014.9.6(土) 18:00-21:00
パフォーマンス by KATHY：2014.9.6(土) 20:00-
担当：佐々木真純 (info@galleryfm.com)

Fmは2014年9月6日(土)よりグループ展「期待と回想 prospect and reflection」を開催します。
この展覧会は恵比寿にオープンした現代美術を扱うギャラリー、Fm(エフマイナー)の第一回目の展覧会企画です。

本展覧会には、美術の分野に捕われることなく制作活動を続けている、水野健一郎、管弘志、浮舌大輔、伊波英里が参加します。

水野健一郎はこれまで多くの展覧会に参加すると同時に、ジャンルを超えたコラボレーションを積極的に行ってきた作家です。水野はテレビアニメからの無意識な影響を抽出して映像及び平面作品を制作します。

管弘志は、雑誌やCDジャケット等に作品を提供する一方、国内外での展覧会に参加しています。管は直線を用いてモチーフをディフォルメし、マスキングテープや、カラス口、ぼかし網などを使って繊細に着彩した作品を制作しています。

浮舌大輔は、映像、グラフィック、音楽など複数のメディアで活動を続けています。アーティストグループ「20TN!」の主宰や、OPENdANのメンバーとして作品を制作するなど、ハイブリッドな着想、手法で作品を制作しています。

伊波英里は、映像作品の制作を中心に、平面および立体作品を制作する作家です。伊波は80年代前半から、90年代前半にかけてのデジタルグラフィックを思い起こさせるモチーフを取り入れ、デジタルを用いた表現の可能性を押し広げています。

本展覧会のタイトル「期待と回想」は、哲学者鶴見俊輔の書籍のタイトルを引用したものです。現在まで制作されてきた美術史に残る作品に学び、発展させることでマスターピースは生まれます。本展覧会はこれまで制作されてきたマスターピースを「回想の次元にとじこめず、期待の次元で捉えなおす」作家達による展覧会です。

「期待と回想 prospect and reflection」参加作家:

水野健一郎 (みずの けんいちろう)

1967年 岐阜県生まれ

セツ・モードセミナー卒業。既視感と未視感の狭間にゆれるロマンチズムを求めて、潜在的絵画体験であるテレビアニメからの無意識な影響を脳内で再構築し、ドローイング、ペインティング、グラフィック、アニメーションなど、多様な手法を用いて作品を制作。多くの展覧会に参加するとともに、パフォーマンスやファッションデザイナーなど、他分野とのコラボレーションを精力的に行う。作品集『Funny Crash』（2009年）、『KATHY's "New Dimension"』（2011年）をTOKYO CULTUART by BEAMSより刊行。2012年より映像チーム「超常現象」、美術ユニット「最高記念室」としても活動。2013年より美学校「絵と美と画と術」講師、東北芸術工科大学映像学科アニメーションラボ非常勤講師。

HP: マイファイ (仮) <http://kenichromizuno.blogspot.jp>



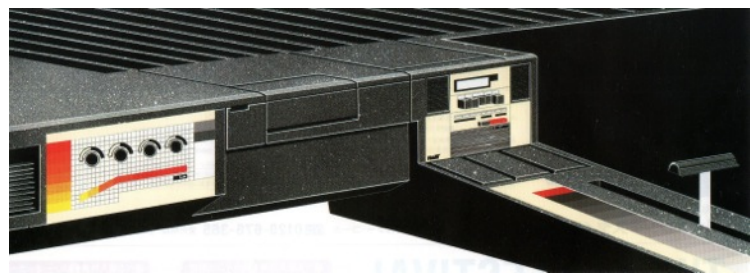
© Kenichiro Mizuno

管弘志 (かん ひろし)

1973年 大阪府生まれ

創造社デザイン専門学校夜間部卒業。雑誌、書籍、CDジャケット等に作品を提供する一方で、国内外での展覧会に参加。管は直線を用いて水平、垂直的な構成でモチーフをディフォルメし、マスキングテープや、カラス口、ぼかし網などを使って繊細に着彩された平面作品を制作。VOL.7 HBファイルコンペ藤枝リュウジ賞、タンカレーマティーニパーフェクトアート2000常磐響賞、第112回THEチョイス入選、第11回TIS公募入賞ほか。雑誌「モーターマガジン」、「カーサブータス」、ホテルクラスカブックCDほかに作品提供。キリンジ「カメレオンガール」、リップスライム「黄昏サラウンド」CDジャケットを担当。

HP: 新しい長さ <http://hirishikan207.blogspot.jp/>



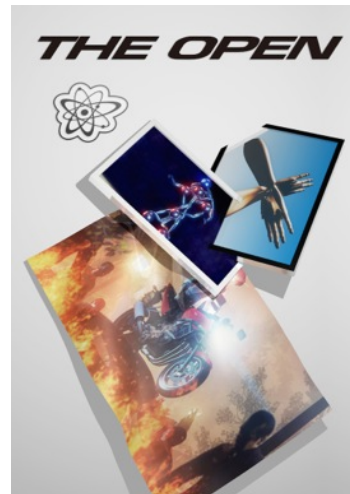
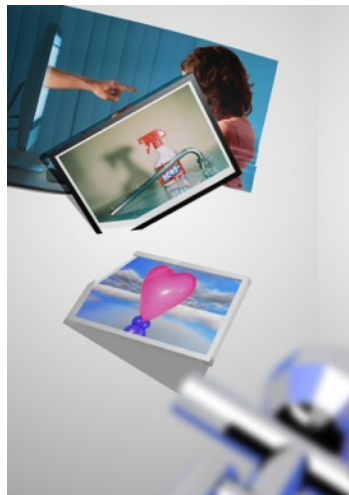
© Hiroshi Kan

浮舌大輔 (うきした だいすけ)

1981年 静岡県生まれ

映像、グラフィック、エディトリアルデザイン、立体作品、インスタレーション、音楽など多岐に渡ったメディアで活動。アーティストグループ「20TN!」の主宰やOPENdANのメンバーとして作品制作やパフォーマンスを発表するなど、ハイブリッドな着想、手法で作品を制作。展覧会「FIXIVISION」 ukisitadaisukextodamasaki、「空中GO!」(20TN!)、「(((OCOS)))」 produced by 20TN! ほか。「和ラダイスガラーヂ」、「LOW END THEORY JAPAN」、等でVJ。bcks (天然文庫) 第三弾より作品集『パーツウープリ』を刊行。『forestlimit』を東京都渋谷区幡ヶ谷にオープン。2014年 不定型プロダクション「THE OPEN」設立。

HP: <http://20tn.tumblr.com/> (20TN!)



© Daisuke Ukisita

伊波英里 (いなみ えり)

1981年 東京生まれ

映像に軸足を置きつつ、グラフィックやオブジェなど多岐にわたる作品を精力的に発表している。

デジタルによる作画が導入された80年代前半から、本格的なデジタル作画の時代が始まる90年代前半にかけてのデジタルグラフィックを思い起こさせるモチーフを取り入れ、デジタルを用いた表現の可能性を押し広げている。個展2012年「丘ファンタジー」(mograg garage、東京)など。グループ展2014年「総天然色キャンプ」(吉祥寺バウスシアター/東京)など

HP: <http://eriinami.com/>



© Eri Inami

Fm

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-14-12 ルソレイユ3 303

e: info@galleryfm.com hp: galleryfm.com